



### めざせ！未来のプロ野球選手

本市出身で元巨人軍の藤本貴久さんら元プロ野球選手による野球教室に県内の小中学生約100人が参加。守備位置ごとに分かれ、元阪神の八木裕さんや元オリックスの星野伸之さんら14人から投球や捕球、打撃、守備の基本動作を教わりました。

教室は全国野球振興会が全国47都道府県で開催。本市では平成28年から4年連続で開催、コロナ禍の中止を挟み、3年ぶりの開催となりました。〔5月8日／黒田庄ふれあいスタジアム〕



### 不要の眼鏡を発展途上国に

不要になった眼鏡を発展途上国に送り、矯正をせずに暮らす人たちに役立ててもらおうと、西脇ロータリークラブの皆さんが、市民交流施設など12カ所に回収箱を設置。寄せられた眼鏡や老眼鏡など計777本を宮城県のリサイクルセンターへ発送しました。眼鏡は洗浄と度数計測を経て、必要とする人に届けられます。矢野耕司会長は「家に不要な眼鏡があれば協力してほしい」と呼び掛けています。〔4月19日／西脇商工会議所〕



### 天然水の森で森林整備—サントリーが研修

西脇市、兵庫県、兵庫県緑化推進協会と森林整備に関する協定を結ぶサントリーホールディングス（大阪市）は、水源涵養林として高機能な森を育てるため、「天然水の森」として認定された門柳山で社員研修を実施。入社2～3年目の社員約420人が5日間に分かれて参加し、北はりま森林組合の職員から指導を受けながら枝打ちや細い木のせん定などの作業に取り組みました。

「天然水の森」活動は、同社の社会貢献活動の一環で、工場できみ上げる地下水を生む森林を整備するもの。約千畝の門柳山は、全国21カ所ある天然水の森で西日本最大級の広さを誇ります。平成22年に協定を締結し、社員研修の拠点として活用されています。〔5月9日など／サントリーの天然水の森・ひょうご西脇門柳山（黒田庄町門柳）〕



### みらいえで石にアート

大小さまざまな石に色を付けてアート作品をつくるイベント「みらいえDE石ころアート」を開催。参加した子どもたちがペンを使って、動物や花など思い思いの絵を描きました。〔5月3日／茜が丘複合施設みらいえ〕



### 津万の古民家のにぎわい

まちのにぎわいをつくろうと、津万地区自治協議会が「TUMALシェ」を初めて企画。トランプゲームのほか、飲食や小物の販売ブースが並び、親子連れらが大型連休を楽しみました。〔5月5日／みんなの家・あじさい〕



### 東北応援マラソンで交流

芳田自治協議会が東北風土マラソンのサテライト会場としたマラソン大会を開催。東日本大震災の復興が目的で、都市部に住む親子連れ約60人が参加し、地域住民らと交流を深めました。〔4月24日／野間川芳田公園周辺〕



### 播州織の始祖の功績たたえる

播州織の生みの親である飛田安兵衛翁の功績をたたえる岡の山まつりで、顕彰祭や行者による護摩供養が執り行われ、関係者らが播州織の振興や新型コロナウイルス感染症の収束を祈願しました。播州織は飛田安兵衛が約230年前に京都西陣から織物の技術を持ち帰ったことが起源と伝えられています。〔5月3日／岡之山公園〕



### 平安時代の武将・頼政公しのぶ

平安時代の武将で歌人の源頼政公をしのぶ頼政祭で、関係者らが墓を参拝した後、妖怪「鵺」を退治したという平家物語の伝説にちなみ、兵庫教育大学の弓道部員が演武を披露。宝刀「獅子王」の写し刀が展示されたほか、よさこい踊りや抽選会も行われ、地域住民らでにぎわいました。〔4月29日／長明寺（高松町）〕